

第23期第12回常任理事会議事録

日時 昭和60年10月9日(水) 13:00~17:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 松本, 花房, 田宮, 春日, 土屋, 竹内,
浅井, 杉村, 松野, 能登

議事

A. 報告事項およびこれに関連する確認事項

[国際学術交流]

- (1) 9月27日委員会を開催した。
- (2) 中国代表団について
 - ア. 東京での予定表が配布された。
10月24日富士通の視察に伴い変更がある。
 - イ. 講演の依頼について検討した。
- (3) インドからの長期予報100年記念国際セミナー協力依頼について(審議事項参照)
- (4) 昭和61年度予算について検討した(審議事項参照)

[講演企画]

- (1) 61年春季大会(担当:東大海洋研)の日程について
5月21日(水)~23日(金)とする。
- (2) これに関連し, 天気発行を平常通り行うためにはプログラム作成(講演申込み締切)を2週間繰り上げるべきことが指摘された。
- (3) 講演申込み要領の変更について
天気に掲載する。

B. 審議事項

1. 中国代表団の講演について
中国側からあらかじめ通知のあった講演題目リストにもとづき, 日本気象学会の希望を整理した。詳細は原田幹事に一任することとした。
2. 名誉会員について
山元理事長より推薦理由書案が示され, これにもとづき理事会にはかることになった。
3. 昭和61年度予算案について
 - (1) 各委員会より下記の61年度予算申請が示された。

担当理事より会員数が安定するまで控え目な予算を立てたいとのコメントが述べられた。

- ア. “天気”と“気象集誌”の内容の充実
- イ. NWP シンポジウムのプロシーディングスの編集
- ウ. 事務の機械化
- エ. 国際学術交流活動の充実。
ただし, 基金利子から約10万円事業として使用することが前提である。
- (2) 以上の申請を検討して行くことが承認された。
- (3) 本日の検討結果にもとづく予算案の立案方針を理事会にはかることとなった。
4. インド気象学会より要請のあった長期予報100年記念国際セミナー協力依頼について
財政負担を伴わない共催依頼を引き受ける事を決定した。また, 本学会より2名を派遣する(ただし, 経費の一部本人負担)。うち1名は栗原会員とし, 他1名については数名の候補者のうちから松本理事に交渉を一任することとなった。
5. 日本学術会議会員について
 - (1) 澤田龍吉本学会会員が日本学術会議会員に任命されたこと, および若干の経過について天気に掲載するための原稿について検討された。
 - (2) 同会員には今後理事会, 常任理事会の議事録を送付する。また, 双方の必要に応じて理事会, 常任理事会への出席があり得ることが確認された。
6. モデルによる大規模気象過程の研究に関するセミナー(昭和61年7月30日~8月2日)の後援依頼について
財政的援助をしない条件で後援することとなった。
7. 会員の新規加入の承認について
個人会員今須良一ほか4名の新規加入が承認された。